

2020年第23回WPCヒューストン大会論文募集開始

ヒューストン大会におけるフォーラムペーパー（5ブロック、23フォーラム）の論文募集（Call for Papers）が公式ウェブサイト上で開始された。その概要を以下に紹介する。

日本国内委員会としては、前回のイスタンブル大会以上にヒューストン大会へも積極的な協力・支援を行う所存であり、会員に限らず広く多くの論文の応募をお願いしたい。

【論文の提出方法】

- (1) ヒューストン大会の公式ウェブサイトから以下の Call for Papers のページにアクセスする (<https://wpc2020.com/callforpapers>)。
- (2) 全フォーラムのトピック概要が記載されているので、その内容を確認する。提出する論文要旨は第 23 回大会のいずれかのフォーラムに関連するものでなければならない。
- (3) 任意のフォーラムに関連する Abstract (論文要旨) を 100~300 語にまとめる。Abstract は英語で記載すること。表・図・画像等は使用できない。
- (4) 発表形式を決定する。論文要旨は「Paper (論文)」または「Poster (ポスター)」あるいは「Paper or Poster」の 3 通りのうちいずれかの形式を指定して提出する。Paper として選出された場合は、会議会場における Forum セッションでの発表となり、Poster として選出された場合は、展示会場内の Digital Poster Plaza での展示および発表となる。
- (5) Abstract の提出期限は 2019 年 9 月 30 日である。
- (6) Abstract を提出した場合は、事後のフォローアップのために日本国内委員会事務局に対し以下の情報のご報告をお願いしたい。
 - ① 応募対象ブロック名とフォーラム名
 - ② 希望発表形式：「Paper」、「Poster」、「Paper or Poster」
 - ③ 論文タイトル（英語・日本語併記）
 - ④ Abstract のコピー
 - ⑤ 著者名、共著者名（該当する場合）、所属組織名、部署名、電話、メールアドレス
- (7) 日本国内委員会は、提出する予定の Abstract に専門家（Native speaker）による英文のブラッシュアップのサービスを希望者に提供するので、事務局に申し込まれたい。その際、可能であれば和文原稿の提出も併せてお願いしたい。

【提出期限後の流れ】

- (1) フォーラム毎にそれぞれ Paper が 4 件、Poster が 10 件選出される。
- (2) 2020 年 2 月（予定）に、選出された Abstract の著者に通知される。
- (3) 選出された Paper の著者は、大会の Forum セッションでの発表用の論文（完成版）および PowerPoint 原稿を準備する。
- (4) 選出された Poster の著者は、展示会場内の Digital Poster Plaza での発表用の PowerPoint 原稿を準備する。
- (5) すべての Paper および Poster は大会のデジタル版報告書に記載される。

第23回WPCヒューストン大会のForumテーマ（一覧）

F : フォーラム (Forum)

(敬称略)

| 区分 | フォーラムテーマ | 日本語訳 | わが国からの決定者 (副) : 副議長 |
|--|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| Block 1: Innovation in upstream | | 上流部門における技術革新 | |
| F01 | Innovative E&P Technologies | 革新的E&P技術 | |
| F02 | Managing Mature Fields | 成熟油田・ガス田の管理 | |
| F03 | New Petroleum Resources | 新たな石油資源 | |
| F04 | Impact of Digitalisation in the Upstream Sector | 上流事業におけるデジタル化の影響 | INPEX・西(副) |
| F05 | Improving Industry Performance | 業界としての業績改善 | |
| Block 2: Innovation in downstream & petrochemicals | | 下流部門および石油化学における技術革新 | |
| F06 | Innovative Refining Technologies | 革新的精製技術 | |
| F07 | Resilient Refining | 将来の環境変化に対応する精製技術 | 【吉村CPC委員 担当フォーラム】 |
| F08 | Chemicals on the Rise | 増加する化学製品 | |
| F09 | Integration of Refining and PetroChemicals | 精製と石油化学の統合 | |
| F10 | Growing Value in Midstream | 中流部門における価値の増大 | |
| Block 3: Innovation in natural gas | | 天然ガスにおける技術革新 | |
| F11 | Transport, Infrastructure & Storage of Natural Gas | 天然ガスの輸送・インフラ・貯蔵 | |
| F12 | Natural Gas and LNG Prospects | 天然ガスと液化天然ガスについての展望 | |
| F13 | Gas as a Transition Fuel | 燃料転換 | |
| F14 | Technology Innovation in Mid- and Downstream Gas | ガス業界の中下流部門における技術革新 | |
| Block 4: Future energy landscape | | エネルギーの将来像 | |
| F15 | Low Carbon Technologies and Strategies for Oil and Gas | 石油・ガスにおける低炭素エネルギー実現の技術と戦略 | 日揮・水口(副) |
| F16 | Low Carbon Energy Options: The Future of Renewables and Alternative Energies | 低炭素エネルギーのオプション：再生可能・代替エネルギーの将来 | |
| F17 | Regulatory and Policy Drivers | 規制と政策の推進力 | |
| F18 | Transportation Energy of the Future | 将来の輸送エネルギー | 千代田化工・岡田(副) 【吉村CPC委員 担当フォーラム】 |
| Block 5: Managing energy solutions | | エネルギー・ソリューションの管理 | |
| F19 | Risk Management | リスクマネジメント | |
| F20 | Accelerating Energy Access | エネルギーへのアクセスの促進 | |
| F21 | Digitalisation of the Petroleum Industry: Opportunities and Impacts | 石油業界のデジタル化：機会と影響 | |
| F22 | Improving the Public Perception of the Oil and Gas Industry | 石油・ガス業界に対する社会の認識の改善 | |
| F23 | Competencies and Skills for Innovative Energy Solutions | 革新的エネルギー・ソリューションのための能力と技能 | |